

ロベルト酒井の 南十字の 空から

平成 25 年度 ブラジル通信

No.14 11 月 22 日～12 月 1 日

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

クリチバ帰国者の会を開催

今年も ABD (出稼ぎ協会) のご協力により会場を提供していただき、11 月 23 日 (土) の午後に「帰国者の会」を開催しました。25 名の方々が参加され、日本の話など懐かしい話で楽しく過ごすことができました。



談笑する帰国者の方々



参加者全員で記念撮影

帰国者の会のトピックス

- ・「僕もアニメが好きなんだ」と初めて会う高校生 2 人が意気投合していた。
- ・日系企業の最終面接まで通った若者が、すでにその企業に勤める若者と知り合い、「一緒に働こう」と声をかけられた。
- ・「出稼ぎに行く前」に日系の方々に支援していた ABD は、今は「出稼ぎ後」の支援に力を入れているため、多くの保護者に会えて有益だった。

クリチバ帰国者支援システムについて

クリチバ市を中心に帰国者を支援するシステム (右下の図) を構築するため、州教育局の方々、ABD 平松会長、パラナ連邦大学現代言語学部長ルイス教授に集まっていたいただき協議しました。

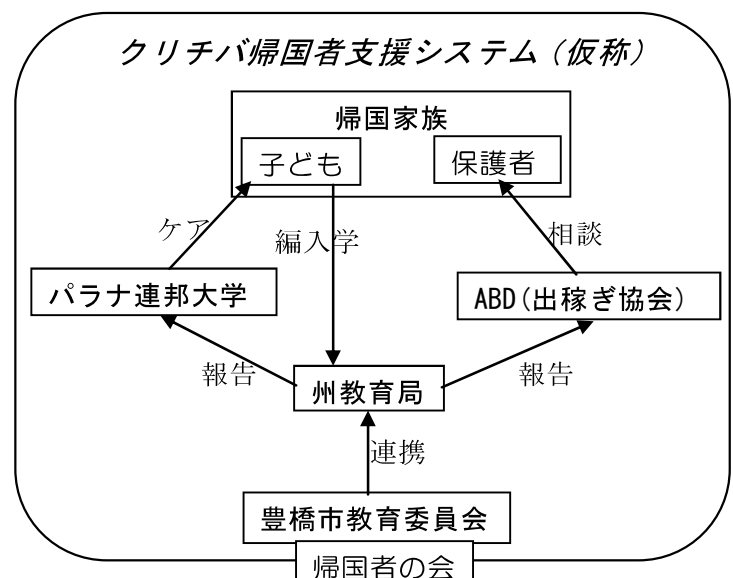
重要事項の決定には至りませんでした、今後の方針について以下のように決まりました。



システムについて協議

「クリチバ帰国者支援システム (仮称)」の今後の方針について

- ・州教育局にシステムの管理部を置く。
- ・学習やボ語の支援は、州立学校のセレン (補習カリキュラム) を活用し、パラナ連邦大学が人的支援をする。
- ・心のケアはパラナ連邦大学の心理学部がサポートする。
- ・パンフレットを作り、ABD を紹介する。
- ・ABD が日系クラブや文教と連携し、イベント等の交流の機会を提供し、支援システムの広報も行う。



農業高校を訪問

農業輸出国だけあって、広大な土地に畑作、酪農など多くの施設がありました。家畜は、牛、ヤギ、豚、ウサギ、鶏、ウズラなど多様です。

校長先生は、農業高校の重要性を認識し、この学校で10年も校長を務めています。



私と校長と豚と…

ホージネイデさんと再会

6月～11月まで岩田小学校を中心に豊橋で研修を受けていたホージネイデさんと再会しました。

11月20日にクリチバに到着し、その後休養をして11月25日から出勤しています。時差ボケも治り、大変元気です。

研修中、豊橋の皆さんに親切にいただいたことを深く感謝されていました。



州教育局の前で

ロベルト酒井の「休日はどうスルー？『サッカーの試合観戦』編」

JICA の方の誘いもあり、ブラジルのプロサッカーリーグ（1部）の試合を観戦しました。クリチバには、「コリチバ FC」と「アトレチコ PR」という1部のチームが2つあります。アトレチコ PR は強豪で、ホームスタジアムは来年の FIFA ワールドカップの会場になるため、現在改修中です。

私が観戦したのは「コリチバ FC:通称 COXA(コッシャ)」の試合です。COXA は「キング・カズ」こと三浦知良選手が若き日に在籍していた伝統のあるチームで、専用スタジアムもあり、私はそこで観戦しました。



当日は、今シーズンのホーム最終戦で、COXAは2部降格圏ぎりぎりに位置しているという緊迫する試合！結果は・・・2-1でCOXAが勝利しました！

あと1試合ありますが、残留の可能性が高くなりました。試合中はサポーターの中に混じり、スタジアムが揺れるほどの熱い応援で、ブラジルの「情熱」を体感しました。



ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号の答えは③です。ブラジルの結婚式は夜9時頃から始まり、朝まで行います。驚いたのが「朝4時ごろの朝食はピザ」と食事のコースに書かれていたことです。したがって、出席者は「手ぶら」で来て「手ぶら」で帰る方がよいので、花束や食器などの贈り物はせず、日本のように引き出物を持って帰ることはありません。通常はネットで新郎新婦に贈り物を届けます。しかし、私はネットで送ることができないので、日本食スーパーで祝儀袋を買い、日本式にお祝いをしました。新婦の父親は大変喜ばれ、祝儀袋を記念にとっておくと言われました。ちなみに私は深夜2時に帰りました。

それでは第14問。私は安全対策のため、「お金を持っている日本人観光客」と見られず、せめて日系3世の現地の人「ロベルト酒井」と思われるように、オフの時間の外出で気をつけていることがあります。それは何でしょう。

- ① サングラスをかける ② 地味な服を着る ③ サンダルを履く 答えは次号で！